

学校だより



平沼

令和3年 4月 28日

横浜市立平沼小学校



Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranuma/>

「学びへのアプローチ」を大切に

校長 寺岡 徹

新緑が目に見え、鮮やかな季節となり、初夏の訪れを感じさせる時節となりました。皆様におかれましては益々ご清祥のことと拝察いたします。

新型コロナウイルス感染症に伴うまん延防止等重点措置が発出される中、令和3年度も一か月が過ぎました。昨年度は臨時休校だったことを振り返ると、子どもたちが登校し、学び合う声が聞こえ、校庭で遊んでいる様子を見るだけで、うれしい気持ちになります。一日も早く感染状況が落ち着き、子どもたちへの影響ができるだけでないことを願っております。

いろいろな制限、制約がある中ですが、子どもたちは本当によく頑張っており、学んでいます。これからの社会を創造する子どもたちには、問題解決力やコミュニケーション能力を身に付け、「自分で考え判断し進んで行動する子」になってほしいと思います。そのためにも、「学びへのアプローチ」を大切に学び続けてほしいと考えています。

「勉強する」という言葉を英語で表すと「study」です。この言葉の語源はラテン語の「studium」で、「熱意」「情熱」という意味になるそうです。ちなみに、児童生徒を表す「student」も同じ語源だそうです。つまり、学校で学ぶ子どもたちは、「熱意」「情熱」をもって学ぶことが大切です。そして、子どもたちが「熱意」「情熱」をもてるような学びへのアプローチを構築するのが授業です。今日はどんな学びに出会えるかなと「期待して登校し」、自分で考えて、友達と一緒に「熱中して学び」、今日もたくさん学んだなあと「満足して帰る」子どもたちを育てることが学校の役割だと考えております。

様々な「学びへのアプローチ」の機会を増やしていく手立ての一つとして、今年度より5、6年生では一部教科担任制を導入いたします。先生との関わり合いは子どもたちにとって大切な学習環境の一つです。いろいろな先生との学び合う中で、「熱意」「情熱」をもって学び続けていけるようになってほしいと思います。また、一部教科担任制は小中学校9年間の義務教育課程の後半にあたる5年生から導入することで、中学校への学びの連続性も目指しております。

子どもたちの「学びへのアプローチ」を支え、より確かなものとなるように、これからも授業づくり、授業研究に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。